

東日本大震災復興支援-----引き続き、みんなで支援しましょう！

風のアンサンブル事務局 / 〒156-0042 世田谷区羽根木 1-25-10 ☎03-3324-1776 / FAX03-3324-3672

Mail ; canon0607@accordion-e-air.jp ホームページ <http://accordion-e-air.jp/index.html>

気仙沼にアコーディオン 2 台を届けに！！ 2/17～19

＜後編＞ 勝俣 静雄

気仙沼湾を見下ろす高台の保育所



2台目のアコーディオンは、第二保育所へプレゼントされた。第二保育所は陣山という気仙沼湾を眼下に見下ろす高台の景勝の地にある。39人の園児がいて、5名の保育士を含む10人で運営されている。訪ねた18日には、午前から保育所のイベントがあり、その一翼を担ってアコーディオンの演奏会が行われた。卒業生も参加していて子どもたちはアコーディオンの演奏を心待ちしてい

たようであった。演奏会は、後藤さんの子どもたちの気持ちやうまくとらえる絶妙な司会ではじまった。演奏曲目は、「もののけ姫」、「リベルタンゴ」、「こきりこ」、「歓喜の歌」などであった。

「タンゴ」知っている？ダンゴではないよ、みんなの知っているのは、甘いたれのついたダンゴでしょう。ダンゴおいしいよね。タンゴは遠いアルゼンチンの民謡かな？ではリベルタンゴを聞いてみてね。

第二保育所では、毎週ピアノ先生による音感教育が行われている。今回あらたにアコーディオンが加わることになったのである。夕方急ぎよ、アコーディオンの講習会が行われた。所長さんと娘さんの他に、2人の保育士さんが居残っておられて、川口先生をはじめ有志の方による特訓が行われた。4人は大変熱心に受講された。第二保育所にアコーディオンがしっかりと根を下ろすと確信したという。川口先生のお話では、将来が楽しみで、気仙沼からすぐれたアコーディオニストの誕生も期待できるという。

第二保育所にはアコーディオンばかりでなく、ドラム



(子供用)、リコーダー、シェイカー、トークドラム、譜面台、練習用テキスト(3)なども寄贈した。こどもたちによる器楽合奏もできそうである。



息の長い復興支援を!

復興支援は、ただ一回だけではなく、息の長い支援が必要とされる。

とくにアコーディオンの演奏レベルの向上には、定期的な訪問による講習も不可欠であろう。アコーディオンをお贈りしたからには、これからの息の長いアフターケアを、今から検討しておくべきだと思った。

今回のアコーディオンによる気仙沼支援に、コーディネーターのお骨折りいただいた菅原雄治さんに厚く御礼申し上げます。「おひさま」と第2保育所の二か所の選定は、実に妥当な選定であったと思う。2月17日～19日の気仙沼訪問には、川口裕志先生、後平滯子、後藤広一、倉田美穂、高橋伸幸、菊地毅、霜島義和、勝俣友子、勝俣静雄の9名が参加した。全行程1030kmの長距離ドライブを担当していただいた後藤さんには深く感謝申し上げます。



特に往きは深夜ドライブにもかかわらず、不安感をまったく感じさせないすばらしい運転に賞賛の声がしきりであった。そして今回9名が全員健康で、無事に目的を果たして帰京できたのは、実に喜ばしいことであった。みなさま、お疲れさまでした。

第17回アイネ・クライネ・コンツェルト 11月11日(日)開催 準備始まる!! ----- 会場: パルテノン多摩

上記実行委員会より、昨年未開催のアコーディオンとブラス「風のアンサンブル」に推薦の声がかかり、当方事務局は出演を承諾、決定しました。6月より始まる実行委員会には「風のアンサンブル」事務局からも代表が参加します。「風のアンサンブル」関係団体としては、稲城AC、アコーディオン・アンサンブルAir(SAC、羽根木AC)、モーフィアス・ジャズ・オーケストラ(有志)が参加を表明しており、現在20名前後の出演が予測されます。

演奏参加団体 ☆ブルーグラスミュージック「サンフィールド・ピッカーズ」(米国南部音楽) / ☆SSOフルートアンサンブル / ☆弦楽四重奏 カルテット・リリウム / ☆アコーディオンとブラス「風のアンサンブル」 / ☆混声コーラス「黒いひとみ」 / ☆ダンスグループ「RE☆」(ジャズダンス)

★チケット料金: 1000円 / 子ども600円

／出演者参加条件: 一人5枚のチケットを販売すること